

河野保氏寄付資料目録

令和5年3月

京都市上下水道局

「河野保氏寄付資料」(寄付資料、資料点数14点)

本資料群は、第2疏水の建設工事に携わった河野一茂の関係資料である。

内容は、写真と道具類である。

写真は、明治中期から昭和戦前期に掛けて冊影されたものと思われ、京都市三大事業の起工式や第2疏水建設工事の様、琵琶湖疏水に架かる橋等が写されている。

道具類は、パンタグラフやコンパス等の製図用具である。

凡例

- ・「資料番号」は、通し番号とした。
- ・「資料の名称」は、原則として原資料のままとした。但し、原資料に表記がない場合は、内容から判断して〔 〕内に仮の標題を付した。
- ・「点数」は、資料の数量である。
- ・「作成年月日」は、和暦を用い、明治(M)、大正(T)、昭和(S)と略記した。原資料に表記がない場合は「一」、表記はないが推定できる場合は〔 〕内に表示した。一部が記されていない場合は、その箇所を「00」と表示した。
(例 明治23年に作成された資料で月日が不明の場合
→ M23.00.00)
- ・「形状」は、一紙や冊子等で表示した。頁及び丁数並びに特記事項は、適宜()内に表示した。
- ・「作成者」、「名宛者」は、原則として原資料のままとした。但し、原資料に表記がない又は判読困難だが推定できる場合は、〔 〕内に表示した。
- ・「法量」は、原資料の大きさを「縦×横×幅」で表示した。単位はmmである。
- ・「備考」は、上記以外の項目で特記すべき情報を表示した。
- ・「一括」は、元々、複数の資料が封筒や紐等でまとめられていた場合に、該当する資料番号及び特記すべき情報を表示した。
- ・判読が困難な箇所について、字数が分かる場合は「■」、字数が不明の場合は「【 】」と表示した。

| 資料番号 | 資料の名称 | 点数 | 作成 (発行・撮影) 年月日 | 形状 | 作成者 (差出・撮影) | 名宛者 | 法量 (縦×横×幅) mm | 備考 |
|------|--|----|---------------------------|---------------|---|------|--------------------------|---|
| 1 | [竣工時の第一琵琶湖疏水第10号橋] | 1 | [M37.00.00] | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:270×405 写真:207×270 | 下部を水平に切断。裏面に墨筆で「河野」と記載。 |
| 2 | [中井三郎兵衛家水車水路改築工事] | 1 | S06.03.15 | 写真(表紙・台紙・覆紙付) | 差出人:京都市左京区岡崎法勝寺町一番地 中井別荘 撮影者:京都寺町通姉小路上ル 高木良雄 | 河野一茂 | 台紙:230×320 写真:134×195 | 大型封筒入。表紙に花柄の模様を形印。表紙見返しにペン筆で「左京区若王子通り白川東 中井家水車水路改築工事 昭和六年二月十四日着手 全年五月十五日竣工 向テ右側ノ管径一尺三寸 "左側"径壹尺 三枚ノ内」、裏表紙には鉛筆で「昭和六年二月十四日着手 全年四月十七日竣工通水」と記載。大型封筒裏面に捺印で「京都市左京区岡崎法勝寺町一番地 中井別荘 電上二八四五」「京都寺町通姉小路北 高木良雄 電上四六〇五」、墨筆で「河野一茂殿」と記載。 |
| 3 | [岡崎公園での京都市三大事業起工式] | 1 | M41.10.15 | 写真(台紙付) | 撮影者:聖護院大学病院 東横手 錦林館 | - | 台紙:327×388 写真:208×265 | 写真周囲台紙に草柄の模様を形印。裏面に墨筆で「明治四拾壹年十月十五日第二疏水工事起工式応天門前」と記載。写真表面には複数箇所に画像の剥離あり。台紙は垂直方向に反る。 |
| 4 | [平安神宮拝殿前での京都市三大事業起工式] | 1 | M41.10.15 | 写真(台紙付) | 撮影者:聖護院大学病院 東横手 錦林館 | - | 台紙:328×388 写真:205×262 | 裏面に墨筆で「明治四拾壹年十月十五日第二疏水工事起工式 平安神宮ニ於テ奉告文朗読後東遊ノ図」と記載。写真表面には複数箇所に画像の剥離あり。台紙は垂直方向に反る。 |
| 5 | [第二琵琶湖疏水建設工事 南禅寺船溜改修] | 1 | [M43.00.00] | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:315×392 写真:214×291 | 写真周囲台紙に草柄の模様を形印。水抜後の南禅寺船溜を北東側からインクラインの方向を望む。右奥に無鄰菴の漆喰塙と植栽が見える。 |
| 6 | [竣工時の第一琵琶湖疏水第11号橋] | 1 | [M36.00.00] | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:328×402 写真:207×270 | 右下端を切断。左下端折。画像及び台紙の破損劣化大。 |
| 7 | [東高瀬川材木町橋] | 1 | [M39.04.00 ~] | 写真(台紙付) | 撮影者:京都木屋町三条南 加藤成友館 | - | 台紙:329×402 写真:207×264 | 写真周囲台紙に草柄の模様を形印。裏面に墨筆で「高瀬川三条下ル材木町橋 明治三十九年四月竣成」と記載。台紙は垂直方向に反る。写真中央にシミあり。 |
| 8 | [架橋工事中の東高瀬川姉小路橋] | 1 | M39.10.11 | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:328×402 写真:200×267 | 写真周囲台紙に草柄の模様を形印。裏面にペン筆で「高瀬川姉小路町橋工事中 明治三十九年十月十一日撮影」と記載。台紙は垂直方向に反る。写真左上にシミあり。橋桁に鉄筋を組む。橋上には4名の男性が立ち、人物上にペン筆で「まのう」「天道」と記載。 |
| 9 | [第四回内国勲業博覧会開催時の鴨川四条大橋東詰の京都市奉祝門「柳緑花紅」東詰から東を望む] | 1 | [M28.03.00~ M28.07.00] | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:393×338 写真:260×200 | 写真周囲台紙に額縁柄の模様を焦茶色で印刷。門は西洋建築様式を踏まえ、獅子の顔形のレリーフ、蕾形の照明灯、京都市の徽章等を意匠に取り入れる。門柱記載の「柳緑花紅」とは門奥の祇園新地を示したもののか。 |
| 10 | [第四回内国勲業博覧会開催時の鴨川四条大橋東詰の京都市奉祝門「山紫水明」夜間電飾中の門東詰から西を望む] | 1 | [M28.03.00~ M28.07.00] | 写真(台紙付) | - | - | 台紙:393×337 写真:262×200 | 写真周囲台紙に額縁外枠柄の模様を焦茶色で印刷。門は西洋建築様式を踏まえ、獅子の顔形のレリーフ、蕾形の照明灯、京都市の徽章等を意匠に取り入れる。門柱記載の「山紫水明」とは四条大橋西側の京都市中を例えたもののか。 |

| 資料番号 | 資料の名称 | 点数 | 作成 (発行・撮影) 年月日 | 形状 | 作成者 (差出・撮影) | 名宛者 | 法量 (縦×横×幅) mm | 備考 |
|------|--------------|----|----------------------|---------|----------------------|-----|----------------------------------|--|
| 11 | 〔縁側軒先での集合写真〕 | 1 | - | 写真(台紙付) | 撮影者: 京都 岐陽館 | - | 台紙: 325×388 写真: 210×265 | 写真周囲に額縁柄の模様を形印。前列中央3人のうち左腕の肘を左膝にのせている人物が河野一茂か。 |
| 12 | 〔講堂内での集合写真〕 | 1 | - | 写真(台紙付) | 撮影者: 京都駅前 京都 軒写真部 | - | 台紙: 325×388 写真: 210×289 | 写真周囲に焦茶色で幅4mmの縁取。ビニール袋、「NISSAN aprite!」大型封筒入。最後列向かって左から3人目の左斜め前方を向いている人物が河野一茂か。大型封筒裏面にはペン筆で「50代 疏水 昭和11年 死亡68才」と記載。 |
| 13 | 〔河野一茂全身像〕 | 1 | - | 写真(額装) | - | - | 額: 554×405× 23 写真: 414×282 | 写真館にて日本庭園の記念撮影用絵画を背景に撮影。紋付袴姿で、右手に扇子、左手に編笠を持つ。額のガラス面と写真の間に墨筆で「河野一茂」と記載した紙を挿入。裏紙と裏板の間に緩衝材として『朝日新聞』(昭和36年4月26日付夕刊)第1～8面、『京都新聞』(平成3年11月2日付朝刊)第7・8・25・26面を挿入。 |
| 14 | 京都伏見附近之図 | 1 | [~ M21.00.00] | 地図・折本 | - | - | 閉: 412×300 開: 3104×2755 | 墨筆で明治21年の鴨東地区編入前の京都市周辺の郡名と町村名、赤線で京都市内の番組界と番組番号、明治21年の鴨東地区編入前の京都市周辺の旧道、焦茶色で山間部の等高線を記載。 |

| 資料番号 | 資料の名称 | 点数 | 作成 (発行・撮影) 年月日 | 形状 | 作成者 (差出・撮影) | 名宛者 | 法量 (縦×横×幅) mm | 備考 |
|------|-------------|----|----------------------|--------|----------------|-------------|--------------------------|---------------------|
| 1 | 〔製図用パンタグラフ〕 | 1 | - | パンタグラフ | - | - | (閉)500×634 | 箱は破損。 |
| 2 | 〔製図用定規〕 | 1 | - | 定規 | - | - | 53×908 | |
| 3 | 〔製図道具〕 | 1 | - | コンパス等 | - | T-UNAKI&Co. | (閉)187×112 (開)187×228 | ヨコの釘を伸縮させることで施錠できる。 |
| 4 | 〔鉄道曲線定規一括〕 | 1 | 明治33年10月5日 | 定規 | - | 京都鉄道株式会社建築課 | (箱)106×534 (定規)40×540 | 定規は計49点。 |